

# 温泉分析書

## 1. 申請者

住 所：三重県度会郡大紀町滝原1610番地1  
氏 名：大紀町長 谷口友見

## 2. 源泉名及びゆう出地

源 泉 名：阿曾温泉  
ゆう出地：三重県度会郡大紀町阿曾340の3

## 3. ゆう出地における調査及び試験成績

- (イ) 試 験 者 : (所属) (財) 三重県環境保全事業団 調査部環境分析課  
(氏名) 古川 浩司
- (ロ) 調査及び試験年月日 : 平成22年6月1日
- (ハ) 泉 温 : 27.1°C (調査時における気温22.6°C)
- (ニ) ゆう出量 : 80 L/min. ( 掘削自噴 )
- (ホ) 知覚的試験 : ほとんど無色澄明で、炭酸味を含む塩味及び金気味と僅かな硫化水素臭を有し、30分放置すれば、淡黄褐色に着色する。
- (ヘ) pH値 : 6.6 (キヨウ)
- (ト) ラドン(Rn)含有量 :  $1.0 \times 10^{-10}$  Ci/kg (0.27 M・E/kg) (マホ)

## 4. 試験室における試験成績

- (イ) 試 験 者 : (所属) (財) 三重県環境保全事業団 調査部環境分析課  
(氏名) 橋爪 清
- (ロ) 分析終了年月日 : 平成21年6月25日
- (ハ) 知覚的試験 : 淡黄褐色濁で塩味及び金気味を有し、無臭である。  
(採水後72時間)
- (ニ) 密度 (20°C) : 1.0040
- (ホ) pH値 : 6.5
- (ヘ) 蒸発残留物 : 5.77g/kg (130°C)

## 5. 試料1kg中の成分、分量および組成

### (イ) 陽イオン

成 分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
リチウムイオン (Li <sup>+</sup> )	17.2	2.48	2.42
ナトリウムイオン (Na <sup>+</sup> )	1534	66.73	65.15
カリウムイオン (K <sup>+</sup> )	119.0	3.04	2.97
アンモニウムイオン (NH <sub>4</sub> <sup>+</sup> )	5.0	0.28	0.27
マグネシウムイオン (Mg <sup>2+</sup> )	103.9	8.55	8.35
カルシウムイオン (Ca <sup>2+</sup> )	414.2	20.67	20.18
ストロンチウムイオン (Sr <sup>2+</sup> )	6.8	0.16	0.16
バリウムイオン (Ba <sup>2+</sup> )	5.5	0.08	0.08
マンガンイオン (Mn <sup>2+</sup> )	0.3	0.01	0.01
第一鉄イオン (Fe <sup>2+</sup> )	11.8	0.42	0.41
陽イオン 計	2218	102.4	100.0

### (ロ) 陰イオン

成 分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
フッ化物イオン (F <sup>-</sup> )	1.9	0.10	0.10
塩化物イオン (Cl <sup>-</sup> )	1798	50.72	51.05
臭化物イオン (Br <sup>-</sup> )	7.0	0.09	0.09
硫酸イオン (SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> )	0.1	0.00	0.00
炭酸水素イオン (HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )	2954	48.41	48.73
炭酸イオン (CO <sub>3</sub> <sup>2-</sup> )	0.9	0.03	0.03
陰イオン 計	4762	99.35	100.0

### (ハ) 遊離成分

#### 非解離成分

成 分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
メタケイ酸 (H <sub>2</sub> SiO <sub>3</sub> )	84.2	1.08
メタホウ酸 (HBO <sub>2</sub> )	92.9	2.12
非解離成分 計	177.1	3.20

溶 存 物 質 (ガス性のものを除く) : 7.16g/kg

#### 溶存ガス成分

成 分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
遊離二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	1245	28.28
溶存ガス成分 計	1245	28.28

成 分 総 計 : 8.40g/kg

(ニ) その他微量成分 (mg/kg 定量下限値 : 0.001mg/kg)

成 分	検出濃度	成 分	検出濃度
アルミニウム	0.097	銅	検出せず
総ヒ素	検出せず*	亜鉛	0.003
総水銀	検出せず*	鉛	検出せず*
カドミウム	検出せず*		

6. 泉質：含二酸化炭素-ナトリウム・カルシウム-塩化物・炭酸水素塩温泉  
(等張性中性低温泉)

7. 禁忌症、適応症は別表による

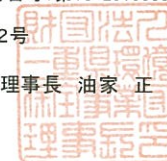
平成22年6月29日

温泉分析書発行番号：第18-20100602-016号

温泉分析登録番号：三重県知事登録第2号

三重県津市河芸町上野3258番地

財団法人 三重県環境保全事業団 理事長 油家 正



# 温泉分析書別表

1. 源泉名 : 阿曾温泉

2. 源泉所在地 : 三重県度会郡大紀町阿曾340の3

3. 温泉分析申請者 : 大紀町長 谷口友見

4. 泉質 : 含二酸化炭素-ナトリウム・カルシウム-塩化物・炭酸水素塩温泉

5. 療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症等は次のとおりである。

浴用の禁忌症 : 急性疾患（特に熱のある場合）、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中（とくに初期と末期）

浴用の適応症 : 高血圧症、動脈硬化症、きりきず、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進

飲用の禁忌症 : 下痢の時、腎臓病、高血圧症、その他一般にむくみのあるもの、甲状腺機能亢進症のときは、ヨウ素を含有する温泉を禁忌とする。

飲用の適応症 : 慢性消化器病、慢性便秘、糖尿病、痛風、肝臓病

## 浴用、飲用の一般的な注意事項

### (1) 浴用上の注意事項

- ア. 温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日当たり1回程度とすること。その後は1日当たり2回ないし3回までとすること。  
イ. 温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3週間を適当とすること。  
ウ. 温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に湯あたり（湯さわり又は浴場反応）が現れることがある。「湯あたり」の間は、入浴回数を減じ又は入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。  
エ. 以上のほか、入浴には次の諸点について注意すること。

- (ア) 入浴時間は、入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分程度とし、慣れるにしたがって延長してもよい。  
(イ) 入浴中は、運動浴の場合は別として一般には安静を守る。  
(ウ) 入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない（湯ただれを起こしやすう人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい）。  
(エ) 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守る。  
(オ) 次の疾患については、原則として高温浴（42℃以上）を禁忌とする。  
イ. 高度の動脈硬化症      ロ. 高血圧症      ハ. 心臓病

- (カ) 熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあるので十分注意をする。  
(キ) 食事の直前・直後の入浴は避けることが望ましい。  
(ク) 飲酒しての入浴は特に注意する。

### (2) 飲用上の注意事項

- ア. 飲泉療養に際しては、温泉について専門的知識を有する医師の指導を受けることが望ましいこと。  
イ. 温泉飲用の1回の量は一般に100ml程度とし、その1日の量はおおむね200mlないしは800mlまでとすること。  
ウ. 強塩泉、酸性泉、含アルミニウム泉及び含鉄泉はその泉質と濃度によって減量し、又は希釈して飲用すること。  
エ. 以上のほか、飲用については次の諸点について注意すること。

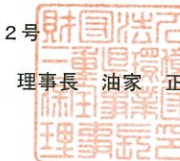
- (ア) 一般には食前30分ないし1時間がよい。  
(イ) 含鉄泉、放射能泉及びヒ素又はヨウ素を含有する温泉は食後飲用する。含鉄泉飲用の直後には茶、コーヒーなどを飲まない。  
(ウ) 夕食後から就寝前の飲用はなるべく避けることが望ましい。

(注) この別表は、温泉法第18条第1項の規定による掲示に必要な参考資料となるものである。

平成22年6月29日

第18-20100602-016号一別表

温泉分析登録番号 : 三重県知事登録第2号  
三重県津市河芸町上野3258番地  
財団法人 三重県環境保全事業団



理事長 油家 正